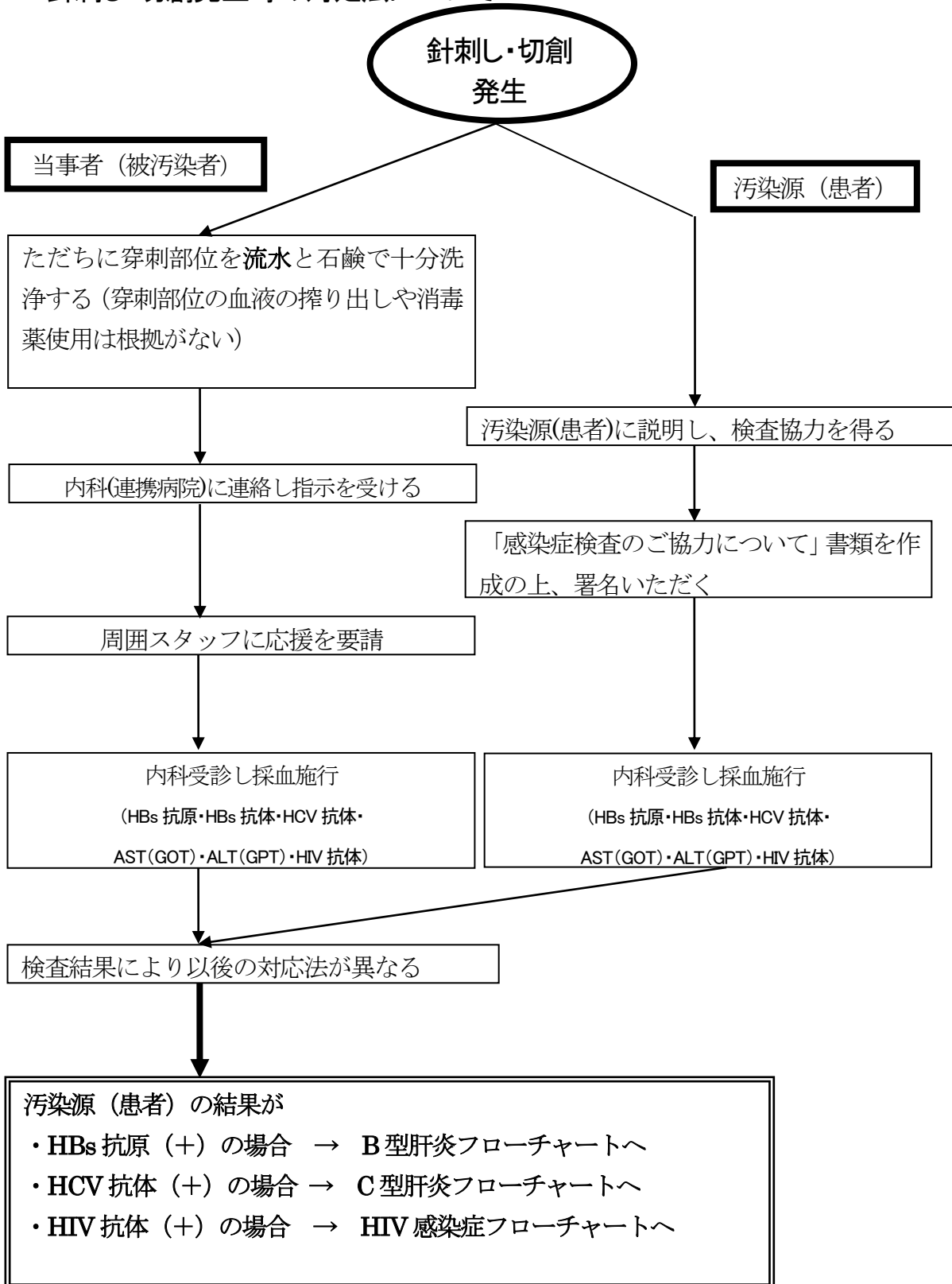


# 針刺し・切創発生時の対処法について



針刺し・切創発生

当事者 (被汚染者)

汚染源 (患者)

ただちに穿刺部位を流水と石鹸で十分洗浄する (穿刺部位の血液の搾り出しや消毒薬使用は根拠がない)

内科(連携病院)に連絡し指示を受ける

周囲スタッフに応援を要請

内科受診し採血施行  
(HBs 抗原・HBs 抗体・HCV 抗体・AST(GOT)・ALT(GPT)・HIV 抗体)

汚染源(患者)に説明し、検査協力を得る

「感染症検査のご協力について」書類を作成の上、署名いただく

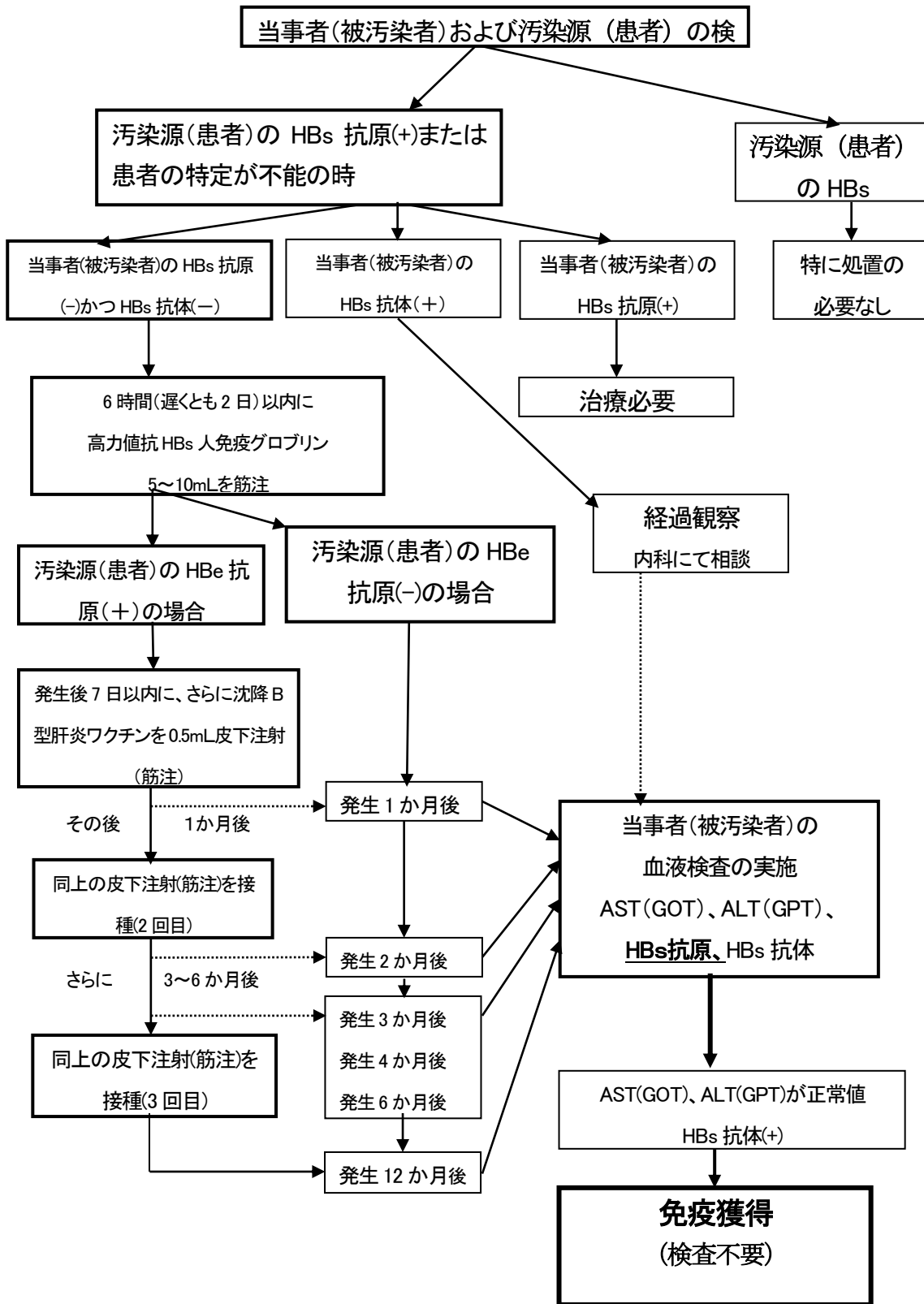
内科受診し採血施行  
(HBs 抗原・HBs 抗体・HCV 抗体・AST(GOT)・ALT(GPT)・HIV 抗体)

検査結果により以後の対応法が異なる

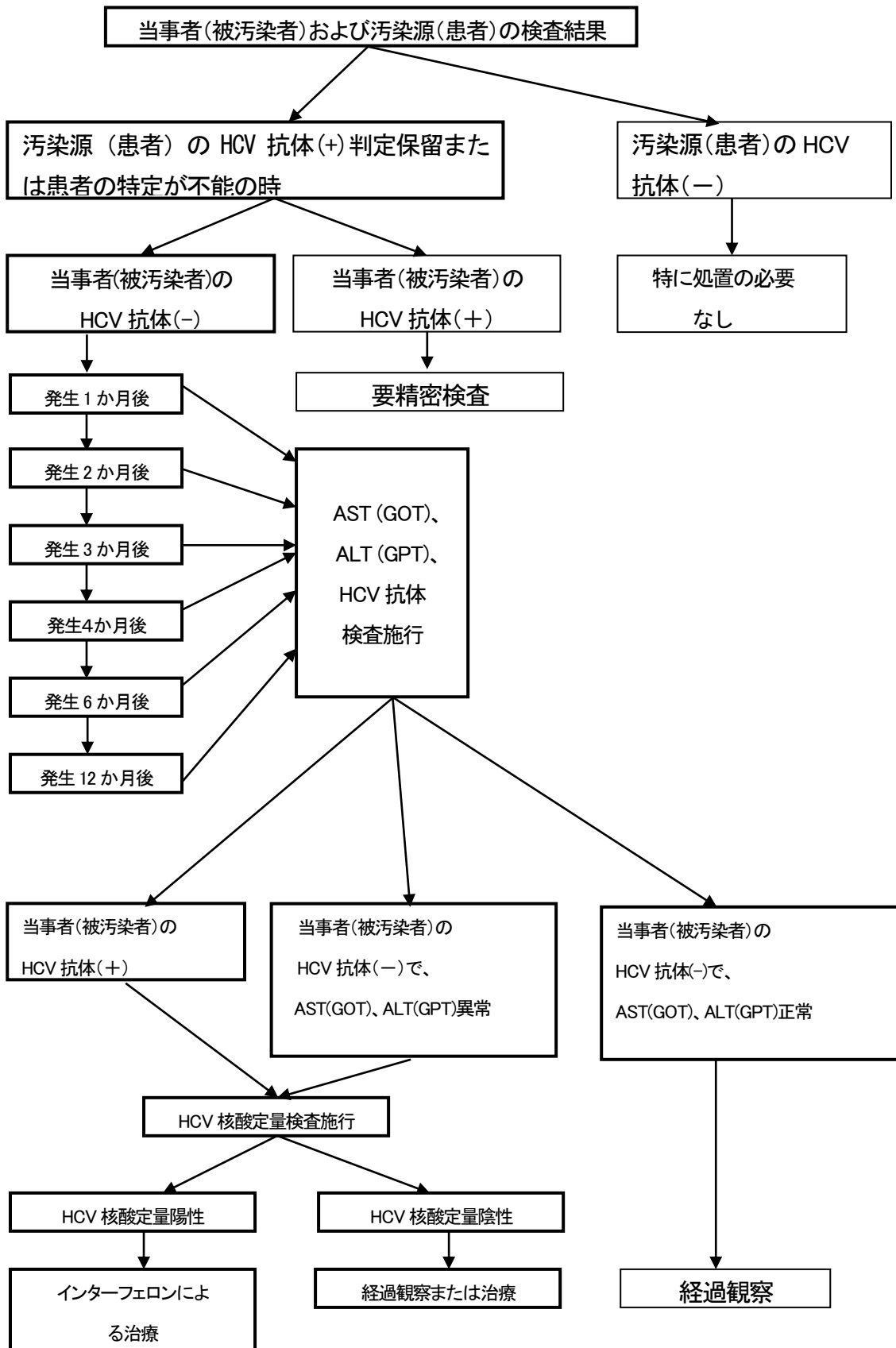
汚染源 (患者) の結果が

- ・ HBs 抗原 (+) の場合 → B 型肝炎フローチャートへ
- ・ HCV 抗体 (+) の場合 → C 型肝炎フローチャートへ
- ・ HIV 抗体 (+) の場合 → HIV 感染症フローチャートへ

# B型肝炎フローチャート



# C型肝炎フローチャート



# HIV 感染症フローチャート

